

3 福祉・健康

- 保健事業と介護予防の一体的実施として、**栄養・口腔・健康状態不明者を個別支援**するとともに、**フレイル予防**などの周知・啓発を進めました。
- 障がいの有無にかかわらず安心して暮らせるよう、**障がい者相談支援センター**を6か所設置するとともに、**医療的ケアを要する障がい者に対する支援体制の検討**を進めました。
- 災害発生時に備え、**地域支援組織との災害時要援護者支援に関する協定の締結**を進めました。
- 北大阪健康医療都市(健都)を中心に、国立循環器病研究センターなどと連携し、**心不全リスクのある市民への保健指導**や**子供と保護者の健康支援**、**脳卒中軽症退院患者への支援**など、産学官民連携による健康・医療のまちづくりに取り組みました。
- 市保健所を設置**し、本市一丸となって感染症対策に取り組みました。

5 環境

- 脱炭素社会への転換に向けた先進的な取り組みとして、**公共施設に再生可能エネルギー比率の高い電力を導入**しました。
- 市役所本庁舎の**ESCO事業**や**公共施設の照明、街路灯のLED化**など、省エネルギー化の取り組みの強化を図りました。
- 「もったいない精神」に立ち返り、**北摂7市3町と協定事業者と連携したマイバグ持参促進キャンペーン**の実施や、**公共施設などへのマイボトル用給水機の設置**を行いました。

7 都市魅力

- 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響下で、市内企業が事業継続、社会の変化に対応できるよう、**休業要請支援金**や**小規模事業者応援金の支給**、**キャッシュレス決済ポイント還元事業の実施**などの支援を行いました。
- メイシアター**や**総合運動場のリニューアル**などにより、文化やスポーツに親しめる環境づくりを進めました。
- 外国籍市民の増加を踏まえ、**多文化共生ワンストップ相談センター**を開設しました。
- 市制施行80周年プロジェクト会議と連携した**PRや記念誌の発行**、**記念事業**を行いました。
- すいたフェスタ**の開催、**情報発信プラザ「Inforestすいた」**のリニューアルなど、積極的なまちの魅力発信に取り組めました。
- ガンバ大阪デザインのラッピングバスの運行**や**ラッピングポストの設置**、**ご当地ナンバープレート**の導入など、ガンバ大阪とも連携し、まちへの愛着の醸成を図りました。

4 子育て・学び

- 増加する保育ニーズへの対応として**保育所を整備**したほか、**保育士・保育所支援センター**の設置などを行い、待機児童ゼロを達成しました。
- 子ども医療費助成対象年齢の引き上げ**や**病児・病後児保育室の新たな整備**など、子供の健やかな成長を守る取り組みを行いました。
- いじめ防止相談ツール「マモレポ」**の運用を開始するなど、すいたGRE・ENスクールプロジェクトとして「いじめのない学校づくり」を推進しました。
- 全小中学校の特別教室へのエアコン整備**など、社会変化にも対応した学校教育環境づくりを進めました。
- 中核市移行に伴い**すべての教職員研修を企画・運営**するなど、教職員に係るさまざまな改革を進めました。
- 留守家庭児童育成室の業務委託拡大と業務プロセス改善**を行い、放課後の居場所の充実を図りました。
- 健都ライブラリー**や**地区公民館、図書館、児童センター**の機能を備えた複合施設「**まちなかりビング北千里**」がオープンしました。
- 電子図書**の提供など、時代に合わせた新しいサービスを開始しました。

6 都市形成

- 中核市移行に伴う市独自の景観行政への取り組みとして**屋外広告物ガイドライン**を策定したほか、公園の魅力向上に向け、**江坂公園、桃山公園**で**Park-PFI制度**を活用した再整備を行うなど、魅力あふれる都市空間づくりを進めました。
- 積年の難課題であった、**佐井寺西土地区画整理、上の川周辺まちづくり**、**新八王子橋の歩道整備**に着手するなど、安全・快適に暮らせるまちの実現に向けた取り組みのさらなる推進を図りました。
- 千里丘朝日が丘線新設**に着手、**片山浄水所のリニューアル**や**雨水レベルアップ工事**の推進など、道路、水道、下水道などの都市基盤に対し、「**まちの固定費**」として計画的に予算を投入しました。

8 行政経営

- SDGsを意識した持続可能な行政運営に取り組み、**第4次総合計画の中間見直し**にも着手しました。
- 中核市移行に際しては、必要となる人員体制や財源を確保し、**約3000の事務移譲**を受けました。
- 労働相談窓口の相互利用、人事交流**など、**4中核市NATS(西宮・尼崎・豊中・吹田)**による自治体間連携を進めました。
- 新型コロナウイルス感染症感染拡大や物価高騰を受け、**緊急的支援策**により**市民、事業者、医療・福祉現場、教育**を支援しました。
- 手続きの電子化、キャッシュレス決済の導入、システムの標準化**などの**デジタルトランスフォーメーション(DX)推進**にも積極的に取り組み、市民サービス向上や業務プロセス改善を図りました。

市制80周年を経て、さらなる未来へ

企画財政室(TEL6384・1632 FAX6368・7343)



あいさつの全文

後藤市長4年間の総括し、あいさつ

市議会2月定例会の冒頭で、市長が4年間の振り返り、あいさつしました。要約して紹介します。

この4年間は市政の歴史の中で大きな転換期となりました。80周年を迎えた令和2年の春に中核市へと移行し、保健所を中心に、新型コロナウィルス感染症の対策に最前線を取り組んできました。

中核市として強化された行政力、健全な財政状況は、魅力あふれるまちづくりにつながっています。継続的に人口が増加し、令和3年には政令指定都市および中核市で人口増加率が全国トップとなりました。

本市行政の責務は、市民の安定した暮らしを保障し、健康・医療、子育て・教育、福祉、生活利便性といった強みをさらに強化すること、危機管理体制の強化を図ることです。災害やパンデミック、戦乱に翻弄される世界情勢において、日々の「当たり前」の豊かさ「は絶対的なものではないと気付かされます」。

多様な市民の人権を尊重することを基本に、行政力を市民のために発揮するとの使命感を持ちチャレンジを重ねてきました。先人たちが築いてこられた基盤の上に、魅力あふれる都市が形成されています。先進的な政策を進めることができ、先進的な政策を進めることができたのも、議会をはじめ多くのみなさまのご協力によるもので、改めて敬意と感謝を申し上げます。



2019-2022

4年間の主な取り組み

SUITA's 4years

4年間の主な取り組みについて、分野ごとに一部をピックアップして紹介します。詳細は市ホームページにPDFで掲載しています。



市ホームページ

1 人権・市民自治

- ウクライナ避難者を受け入れ**、民間企業とも連携し支援を行いました。
- LGBTQなど性的マイノリティの人への支援に向けた検討を進め、**パートナーシップ宣誓証明制度の導入**を決定しました。
- さまざまな市民と意見交換をするため、**大学生や地域住民と市長とのタウンミーティング**を実施しました。
- 公式ウェブサイト**を全面リニューアルしたほか、**公式LINE**に**セグメント配信**などの機能を追加し、市民への情報共有・発信の強化を図りました。
- 自治会加入促進等活動補助金の創設**など自治会活動に対しさまざまな支援を実施し、コミュニティの活性化を図りました。

2 防災・防犯

- 危機管理センターの新たな構築**をはじめとした危機管理体制や、**防災ブック・ハザードマップの全戸配布**など市民、事業者との協働による地域防災力の強化を図りました。
- 北部消防庁舎等複合施設建設工事の実施**など、消防・救急体制の強化に向けた取り組みを進めました。
- 新型コロナウイルス感染症対応のための市対策本部会議**を立ち上げ、全庁を挙げて対応に取り組めました。
- 街頭防犯カメラの大幅増設**や**防犯講座・啓発活動**による防犯意識の向上など、誰もが安心安全に暮らせるまちをめざし、取り組みを実施しました。

主な取り組み

予算編成の3つのポイントに沿って、令和5年度の事業として提案した中から主なものを紹介します。(金額は令和5年度の事業費)
※数値は表示単位未満を四捨五入しています。

1 ポイント 子育て世帯への支援を強化

- **病児・病後児保育の年限延長 1200万円**
小学1年生までから、小学3年生までに受け入れ年限を延長します。
- **一時預かり実施施設の充実 1103万円**
佐竹台地域交流室(おひさまルーム)で、1・2歳児を対象とした一時預かり事業を週2日程度実施します。また、ことぶき保育園で新たに一時預かりを実施するほか、南千里保育園の一時預かりの定員を6人から8人に拡充します。
- **保育人材確保のための給付金制度の創設 8484万円**
市内民間保育施設などに勤務する雇用5年目までの保育士・保育教諭に対して給付金を給付します。(最大5年90万円)

- **出産・子育てに係る相談支援と経済的支援の一体的実施 3億6519万円**
2月に開始した出産・子育て応援事業(伴走型相談支援と経済的支援の一体的実施)で、妊産婦などの面談ニーズに応じた体制を整備し、伴走型相談支援の充実を図ります。
- **小学校給食費の無償化、中学校給食費の半額補助 11億3935万円**
子育て世代への経済支援策として実施します。小学校は1人当たり最大5万1000円程度の軽減に、中学校は選択制で1食340円の給食費を半額の170円に。

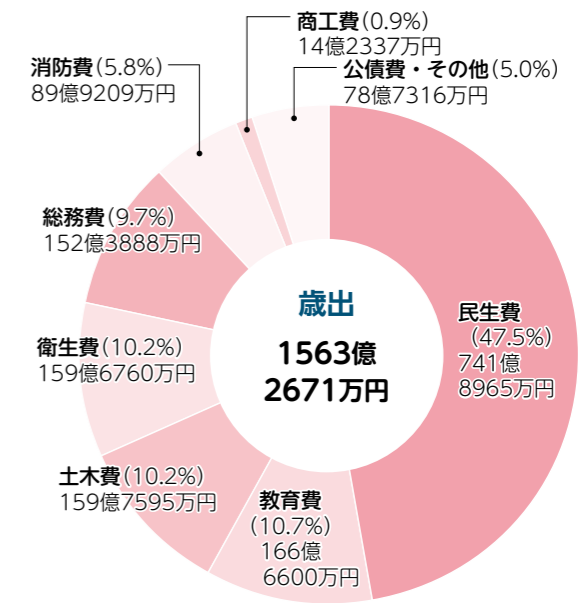
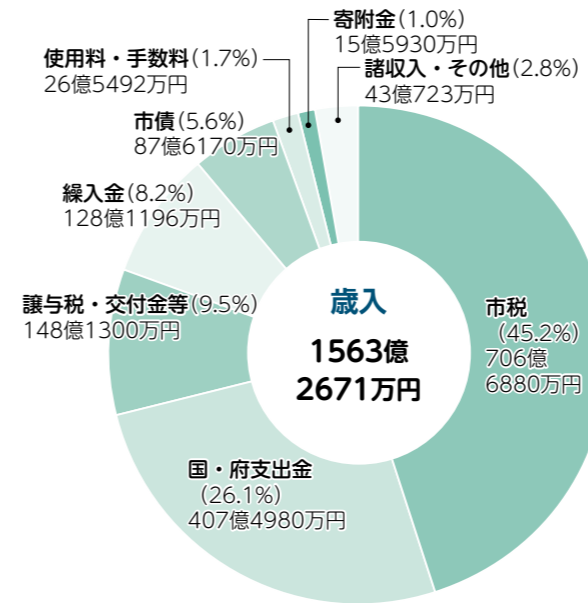


当初予算案

市議会2月定例会に提案した令和5年度の当初予算案です。市議会の承認を経て取り組みを進めます。

一般会計の歳入・歳出

令和5年度一般会計の歳入・歳出予算の内訳です。一般会計は、福祉や教育、公共施設の建設や整備など、市の基本的な事業を担うものです。予算の総額は1563億2671万円となり、前年度に比べ3.5%、52億1392万円増加しました。※数値は表示単位未満を四捨五入しているため、合計が合わないことがあります。



- **市税** 市民税や固定資産税などです。
- **国・府支出金** 特定の事業に対して国・府から支出される負担金や補助金などです。
- **譲与税・交付金等** 国からの譲与税、国・府からの各種交付金、地方交付税です。
- **市債** 市が国や銀行などから借りる長期借入金です。
- **線入金** 特定の目的のために資金の積み立てを行う各基金などから繰り入れるお金です。
- **使用料・手数料** 施設使用料や、住民票の写しの交付手数料などです。
- **民生費** 子育て支援や高齢者、障がい者の福祉などの事業にかかる経費です。
- **土木費** 公園や道路の整備、都市計画などの事業にかかる経費です。
- **総務費** 窓口業務や庁舎管理、広報などの事業にかかる経費です。
- **教育費** 小中学校などの学校教育や図書館などの社会教育にかかる経費です。
- **衛生費** 感染症対策や健康づくり、ごみ処理などの事業にかかる経費です。
- **公債費** 市債の返済にかかる経費です。

2 ポイント 安心・安全のための取り組みを推進

- **北部消防庁舎等複合施設 74億9699万円**
阪急南千里駅前に、北消防署、中消防庁舎、土木庁舎を集約し、災害発生時に市北部の対応拠点となる複合施設を建設します。併せて、吹田市、豊中市、池田市、箕面市、摂津市の5市で共同運用する消防情報指令センターを設置。令和6年春オープン予定です。また、教育センターなどの教育機能も集約し、施設の効率性を高めます。
- **防犯カメラの充実 2611万円**
主要幹線道路など、街頭防犯カメラ35台に災害時利用に伴う映像伝送機能付きカメラを導入します。また、公園は増設や既存の更新も含め、計130台を整備。小中学校は全54校に設置。そのほかの公共施設42施設にも導入します。



- **子供の置き去り防止や見守りを目的とした、機器の導入支援 6940万円**
障がい児通所支援事業者や保育所などに対して、送迎用バスの安全装置設置に係る経費や、ICTを活用した子供の見守り支援などに係る経費を補助します。
- **学校・保育施設などの危険木調査 4752万円**
小中学校や保育所などの安全を確保するため、重大な事故などの発生リスクが高い樹木(危険木)について、診断調査と剪定などの必要な対策を実施します。対象施設は市立小中学校、公立保育所、認定こども園、幼稚園のすべてです。
- **山田三ツ辻付近の安全対策 1億2764万円**
新八王子橋の歩道を整備します。

3 ポイント 良好な住環境形成のための事業を推進

- **佐井寺西地区における土地区画整理事業の推進 28億5975万円**
土地区画整理手法を活用し、これまで未整備であった都市計画道路豊中岸部線、佐井寺片山高浜線の整備と併せて、周辺のまちづくりを一体的に行い、佐井寺西地区の良好な住環境の形成を推進します。

- **上の川周辺のまちづくり 5億2279万円**
上の川の暗きょ化による遊歩道の整備や、地域防災力向上のための道路(橋りょう・踏切)の改良をします。
- **緑化重点地区の再整備 2億4680万円**
JR南吹田駅周辺緑化重点地区における道路(穂波芳野線など)や公園などを再整備します。

各会計の予算額

一般会計のほかに、目的に応じて設けている会計は以下のとおりです。

特別会計	内容	前年度比	
		金額(万円)	割合
国民健康保険	国民健康保険	351億217万円	0.5%
	介護保険	325億1200万円	5.7%
	後期高齢者医療	62億5529万円	▲3.6%
	公共用地先行取得	14億4663万円	▲44.4%
	病院事業債管理	12億1846万円	▲19.7%
	部落有財産	5億1094万円	3.0%
	母子父子寡婦福祉資金貸付	6519万円	11.4%
勤労者福祉共済	3778万円	▲4.1%	

企業会計	内容	前年度比	
		金額(万円)	割合
水道事業	収益的 事業収益	85億9260万円	2.0%
	収支 事業費用	73億9488万円	4.9%
下水道事業	資本的 収入	25億5440万円	84.8%
	収支 支出	61億4516万円	9.9%
	収益的 事業収益	96億8794万円	1.8%
	収支 事業費用	93億6907万円	10.0%
資本的 収入	収入	44億5191万円	26.9%
	収支 支出	74億9481万円	10.6%